

# 山口県高P連 会報

平成30年11月7日発行

# 18号

発行 山口県公立高等学校PTA連合会  
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館2F  
TEL 083-923-4761 FAX 083-923-4785  
http://ymg-kpren.jp/ E-mail ymgt.koup@etude.ocn.ne.jp

## 「あいさし」

山口県公立高等学校PTA連合会

会長 板谷 正



秋冷の候、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より山口県公立高等学校PTA連合会の活動に、ご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また昨年度は、第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 山口大会の開催におきまして、会員の皆様のご協力により盛会に実施できましたことを改めて心から感謝申し上げます。

さて、昨年度の本会報紙におきましてご挨拶させていただきました通り、本来でありましたら昨年度いっばいで本会長職を退任する予定でありましたが、中国・四国地区高等学校PTA連合会内の諸般の事情から、本年度も引き続き本会の会長を務めさせていただきますことになりましたことをご報告いたしますとともに、本年度もよろしくお願い申し上げます。

本年は明治改元150年という節目の年を迎えております。山口県は維新胎動の地であり、封建社会から近代国家へと大きな歩みを進めた、志士たちの熱い思いが脈々と流れている地であります。

150年前、我が国の方向性が大きく変わったのが明治維新ですが、私たちが暮らす現代におきましても社会構造は目まぐるしく、加速度的に変化しております。

最近よく「Society 5.0」という言葉を耳にするのがあると思えます。「Society」とは何か。直訳すれば「社会」となりますが、その後、5.0という数字が

付いているところがよく理解ができないのではないのでしょうか。

簡単に説明しますと「Society 1.0」が狩猟社会、「Society 2.0」が農耕社会、「Society 3.0」が工業社会、「Society 4.0」が情報社会、「Society 4.0」が現実の社会とごつごつになりつつありますが、「Society 5.0」とはサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を、AI（人工知能）等を用い高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の新たな超スマート社会として、我が国の目指すべき未来社会の姿として提唱されております。

我が国を含め世界を取り巻く環境は大きな変革期にあると言えます。これまでの社会では、経済や組織といったシステムが優先され、個人の能力などに応じている面がありましたが、「Society 5.0」ではビッグデータを踏まえたAIやロボットが今まで人間が行ってきた作業や調整を代行・支援するため、日々の煩雑で不得手な作業から解放され、快適で質の高い生活が送れる社会にはなりません。反面で決してAIやロボットに支配され、監視される未来であってはならないのです。

「Society 5.0」において子供達には、「文章や情報を正確に読み解き、思考・吟味し活用するチカラ」、「価値を見つけて生み出す感性とチカラ」や「好奇心」、「探究心」が求められ、新たな社会を牽引するためには、「技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材」、「技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材」、「様々な分野においてAIやデータのチカラを最大限活用し展開できる人材」が必要となります。こうした場合、文部科学省も「公正に個別最適化された学び」を

**【お知らせ】**  
**【講演会・情報交換会のお知らせ】**

※講演会を開催します  
講師 岩崎由純 氏（山口県出身）  
～元氣・活氣・勇氣を与えるトーク術「ペップトーク」～  
日時：平成31年2月8日（日）  
16時～17時30分 講演会  
18時30分～ 情報交換会（教育懇談会）  
会場：ホテルかめ福（山口市湯田温泉）

---

**平成31年度 山口県公立高等学校PTA連合会 総会**  
日時：平成31年6月7日（金）13時～  
会場：ホテルかめ福（山口市湯田温泉）

---

**平成31年度 第61回中国・四国地区高P連大会 鳥取大会**  
日時：平成31年7月12日（金）  
会場：とりぎん文化会館（鳥取市）

---

**平成31年度 第69回全国高等学校PTA連合会大会 京都大会**  
日時：平成31年8月22日（木）23日（金）  
会場：ロームシアター京都、みやこめっせ（京都市）

現する多様な学習機会と場の提供や、基礎的読解力、数学的思考力などの基礎的な学力や情報活用能力をすすめての児童生徒が習得、文理分団からの脱却等、様々なリーディングプロジェクトを勧められております。その中の一つに、地域の良さを学びコミュニティを支える人材の育成として、高校と地元市町村・高等教育機関・企業・医療介護施設・農林水産業等のコンソーシアムを構築し、探究的な学び等を通じ、地域関する産業や文化等に関する特色ある科目（観光学）を必ず履修させるなど、生徒が「やりたいこと」を見つけられる教育機関への転換も掲げられております。

これからの社会を、チカラ強く生き抜いていかなければならない子供達の未来は、私たちが生まれ育ってきた環境からは予測もつかない領域へと社会全体が大きく変化していくことでしょう。そんな混沌とした時代であるからこそ、学校と家庭が一体となり確かなチカラをつけた子供達を社会に送り出していく必要があると考えます。

本年も子供達の未来へ繋がる活動を目的とし、会長としての職を全力で努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。